腎臓内科

1.概要

当科の主な診療領域は、腎炎・ネフローゼ症候群・腎不全(腎後性腎不全は除く)等の内科的腎臓病 一般の他に、透析を含む血液浄化である。尿路結石・腫瘍・感染症は、取り扱っていない。また、透析 患者のシャントトラブルも扱っていない。

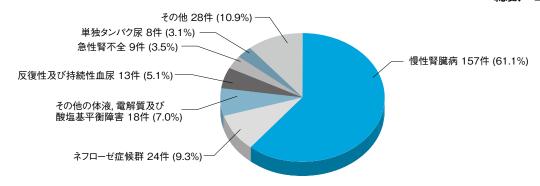
当院は東三河地域の基幹病院であるが、その中で常勤医師数からして最も小さな科の一つであるものの、多種多様な病態の診療に携わっている。実際、急性腎不全(AKI)をはじめとする重症患者の血液浄化の依頼やコンサルトは多く、維持透析患者の合併症や保存期の慢性腎不全(CKD)患者の治療にも関っている。

腎炎やネフローゼ症候群には、名古屋大学腎臓内科の御支援の下、積極的に腎生検を行い、診断・治療に役立てている。末期腎不全に対しては、スタッフ不足から新規の通院透析患者は受け入れられないものの、移植外科と連携して腎移植には対応可能である。その他に、MEや看護師の協力により、血漿交換・免疫吸着・持続的血液ろ過透析(CHDF)等を病態に応じて施行している。

(部長 山川 大志)

2. 新規登録疾患

総数:257件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
慢性腎臓病	慢性腎臟病, 詳細不明	108	N189
	慢性腎臓病, ステージ 5	24	N185
ネフローゼ症候群	ネフローゼ症候群, 詳細不明	21	N049
その他の体液, 電解質及び酸 塩基平衡障害	低浸透圧及び低ナトリウム血症	10	E871
反復性及び持続性血尿	反復性及び持続性血尿, その他	13	N028
急性腎不全	急性腎不全, 詳細不明	5	N179
芯性育小生	尿細管え死を伴う急性腎不全	2	N170
単独タンパク尿	単独タンパク尿	8	R80

3. 活動報告

(1) 患者状況

 年間外来患者数 9,183人
 年間外来新患者数 510人

 年間入院患者数 6,128人
 年間入院新患者数 431人

(2) 科指定5疾患

	疾 患 名	件 数(件)		疾 患 名	件数(件)
1	慢性腎不全	259	4	IgA腎症	15
2	ネフローゼ症候群	123	5	急速進行性糸球体腎炎	9
3	急性腎不全	74		計	480

学会発表 (医局)

<腎臓内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会•研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	菌種数でみた菌血症死亡率に差がないこ との検討	筆頭演者	鵜飼 聡士	第234回日本内科学 会東海地方会	名古屋市	2018/2/11	R
2	上気道炎症状と皮疹が先行し、自然寛解 した巨細胞性動脈炎の1例	筆頭演者	前川 道隆	第234回日本内科学 会東海地方会	名古屋市	2018/2/11	
3	Earlobe crease can be a marker of cardiovascular disease in hemodialysis patients.	筆頭演者	Michitaka Maekawa	ISN Frontiers Meetings 2018	東京都	2018/2/24	
4	ステロイド投与後の成人紫斑病性腎炎患 者の腎予後	筆頭演者	稲垣 浩司	第61回日本腎臓学会 学術総会	新潟市	2018/6/9	

座長・司会 (医局)

<腎臓内科>

No.	座長•司会	演題名	氏名	学会•研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	座長	特別講演 超高齢社会における腎代替療法を考える 腎移植の立ち位置は?	山川 大志	第4回研修医のため の腎セミナー	豊橋市	2018/2/2	
2	座長	特別講演 SLEとGIOP	山川 大志	東三河膠原病セミ ナー2018	豊橋市	2018/2/7	
3	座長	特別講演 CKDの早期診断と治療戦略	山川 大志	東三学術講演会	豊橋市	2018/3/14	
4	座長	特別講演 血管炎の診療~鑑別から治療まで~	山川 大志	東三学術講演会	豊橋市	2018/7/4	

講演(医局)

<腎臓内科>

No.	演題名	演者名	学会·研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	末期腎不全、肺浸潤影で入院された62歳男性について	渡邉 絢史	東三河膠原病セミナー2018	豊橋市	2018/2/7	
2	糖尿病性腎症における球形吸着炭・DPP-4阻 害剤・SGLT2阻害剤の位置付け	山川 大志	東三河糖尿病性腎症懇話会	豊橋市	2018/3/16	
3	CKDの原因となる病気	山川 大志	第4回豊橋市CKD市民公開講座	豊橋市	2018/5/13	